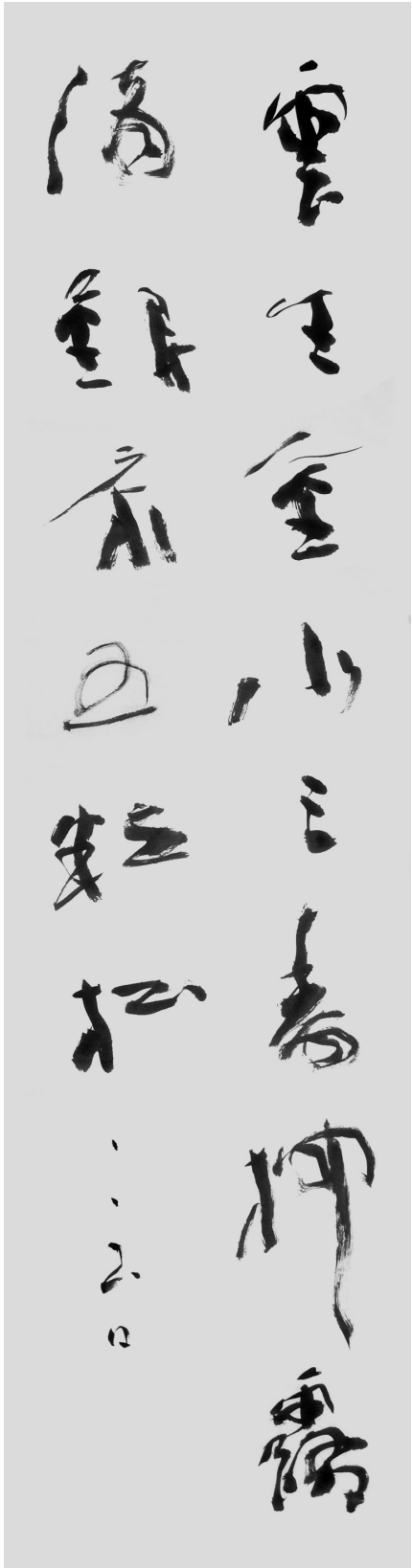


10月25日正午必着

明石春浦先生書



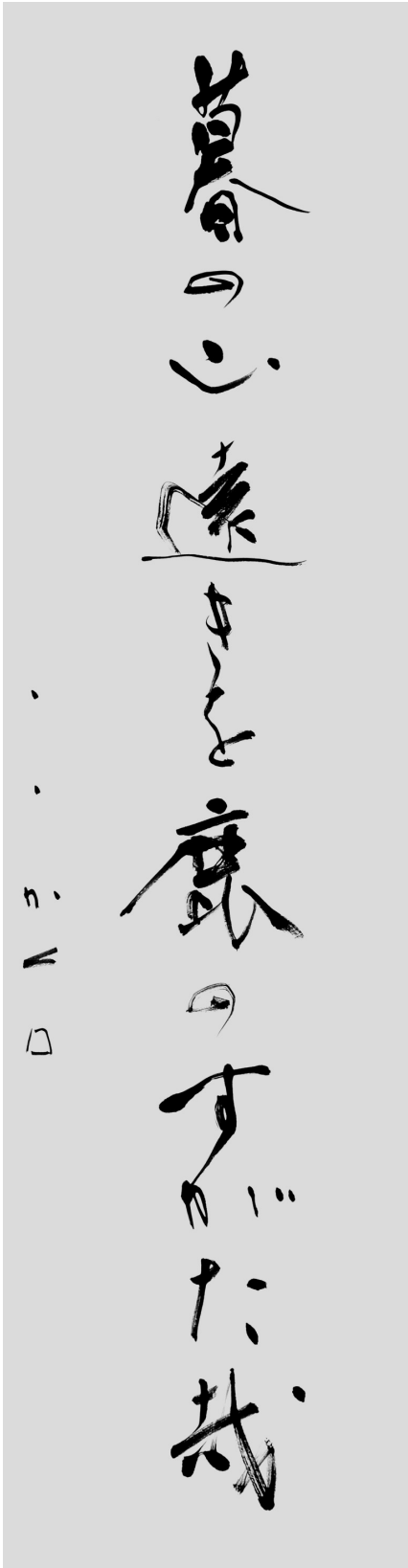
くちはしょうすきんすいさんしゅんのやなぎ。雲生金山三春柳。

つゆはしたたるぎんしょうごりゅうのまつ。露滴銀床五粒松。

(虞集)

三春は春の季即ち三月。五粒松は即ち五葉松。

明石幸子書



暮の山遠きを鹿のすがた哉(榎本其角)



りんかんのけきをつけしより
 自著林間屐 來聽石上琴
 らうそうかをとどめることみしく
 老僧留客久 西嶺日將沈

(高青邱)

下駄を穿いて林間に分け入りし頃、石上に弾ずる琴の音に聞き惚れて居た。
 すると、老僧は、殷懃に客を留め、やがて、坐久しうして、西の山に夕日が沈みさうに成つて来た。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

冷露滴而朝凝 (賈林)

れいろうしたた ちやうにぎやうにこ。

ひやかな露がしたたって、朝、凝りかたまる。

雨意忽生桐葉外 (劉祁)

ういごちたま とうはうちのほか しやう
 雨意忽ち桐葉の外に生じ、
 秋光多く木屋の中に在り。

桐の葉のあたりに、はしなくも雨気がわき、もく
 せいの花に秋光がただよう。

勝果寺

(僧処黙)

しょうかじ

そうじよもく

路自中峯上 盤回出薛蘿

みち ちゆうほうのうへ ばんかいして しゃらかいを出ず

到江吳地盡 隔岸越山多

うらにいたって 呉地尽き 岸を隔てて 越山多し

古木叢青靄 遙天浸白波

こぼく せいゐむらが 遙天 白波浸す

下方城郭近 鐘磬雜笙歌

かほう じやうかくちか しょうけい しょうかまじ

吾木香すすきかるかや 秋くさのさびしききはみ 君におくらむ (若山 牧水)

半紙部規定課題A

10月25日正午必着

何世
如道
復

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

10月25日正午必着

行書

世道復何如

隸書

世道復何如

明石春浦先生書

草書

世道復何如

行草書

世道復何如

世の中はいつたにどうなっているのだろう 東西にはるか離れて過す私たち
 いつもすぐにも会えるかと思ひながら かえってながく便りもないということになってしまふ
 田の麦は深く茂って雉をかくし 淮河の苔むす岸辺、水浅くして魚が見えて
 懐しく思慕しながら会うことができないままに あかさやかな月が幾たび満ち欠けたことか

寄友人

張蟻

世道復何如
 東西遠索居
 長疑即見
 面翻致久無書
 旬麥深藏雉
 淮苔淺露魚
 相思不我會
 明月幾盈虛

友人に寄す

張蟻

世道 復た何如
 東西 遠く索居す
 長に疑う 即ち面を見るかと
 翻つて致す 久しく書無きを
 旬麥 深く雉を蔵し
 淮苔 浅く魚を露わす
 相思 我と会せず
 明月 幾たびか盈虚せし

(出典)

朝日新聞社刊
 「三体詩」下より



於闕里。來蘇之歌。復詠於洙中。京兆五守。無以剋加。河南二尹。裁可若茲。雖名位未一。風□□□。遂に講習の音をして再び闕里に声あらしめ、来蘇の歌をして復た洙中に詠ぜしむ。京兆の五守も、以て剋く加うる無く、河南の二尹も、裁かに茲くの若くなるべし。名位未だ一ならず、風□□□と雖も、

着必正午25日10月

雖名位
未一

名位未だ一ならず、(風□□□と) 雖も、

京兆五守無以剋加
河南二尹裁可

京兆の五守も、以て剋く加うる無く、河南の二尹も、裁かに(茲くの若くなる)べし。

北魏張猛龍碑

清朝の中頃、阮元が南北書派論・北碑南帖論を著わしたり、包世臣が北碑の美を称揚してから北碑が次第に親しまれるようになった。更には、清末には康有為が出て一層北碑の価値を高め、その余波は我日本にまでも及んで今日に到っている。

この碑は宋代にすでに著録されているもので、古くから知られていたが、先の識者達に絶賛されてから北碑の代表的名品として、世人に注目されるようになった。

北魏の魯郡の太守をしていた張猛龍の徳行を頌するために建てられた碑で、碑額には楷書で「魏魯郡太守張府君清頌之碑」と十二字が三行に陰刻されている。碑文は楷書で二十六行、一行には四十六字刻されている。

結構はやや長方形に引きしまり、転折鋭く、書風は峻整で森嚴(身が引きしまるようにおごそかなさま)、用筆は健勁を極め、一種清高の気を帯びた作で六朝楷書の代表とされる。

この碑よりわずか三年前に建てられた「賈思伯碑」は、題額の様子から書風まで非常に似ており、同筆ではないかと思われ、研究すべき資料とされている。(春廣)

10月25日正午必着

教育部毛筆



しん
神

ひ
秘

中学一年

雨宮春聲先生書



えい
鋭

びん
敏

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



意

見

小学五年

横
戸
春
龍
先
生
書



美

徳

小学六年

横
川
春
川
先
生
書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

10月25日正午必着



ち
地

じょう
上

小学三年

藤田幸春先生書



あり
有

あけ
明

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

み そ 小学一年・幼年



森戸春濤書

たい 大 ぼく 木 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

いたお祝いをした
たん生日に赤飯をた

小学五年

風の流れをしらべる
空高く気球を上げて

小学六年

を愛する民族です
日本人は文字の美しさ

中学

葉に深まる秋を感じる
木々の梢から落ちゆく

一般(級位)

つぎよみの光を待ちて帰りませ
山路は栗のいがの多きに
ませ少踏は栗のいがの多きに

一般(段位)

つぎよみの光^{ひかり}を待ちて^ま帰りませ^{かへ}
山路^{やまぢ}は栗^{くり}のいがの多^{おほ}きに(良寛)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

る	き
	ら
お	き
ほ	ら
し	
さ	ひ
ま	か

幼年

を	き
	れ
み	い
ま	な
し	た
	や
	け

小学一年

た	ふ
か	う
く	せ
上	ん
か	が
	っ
た	空

小学二年

が	火
く	曜
か	日
い	は
で	
す	お
	ん

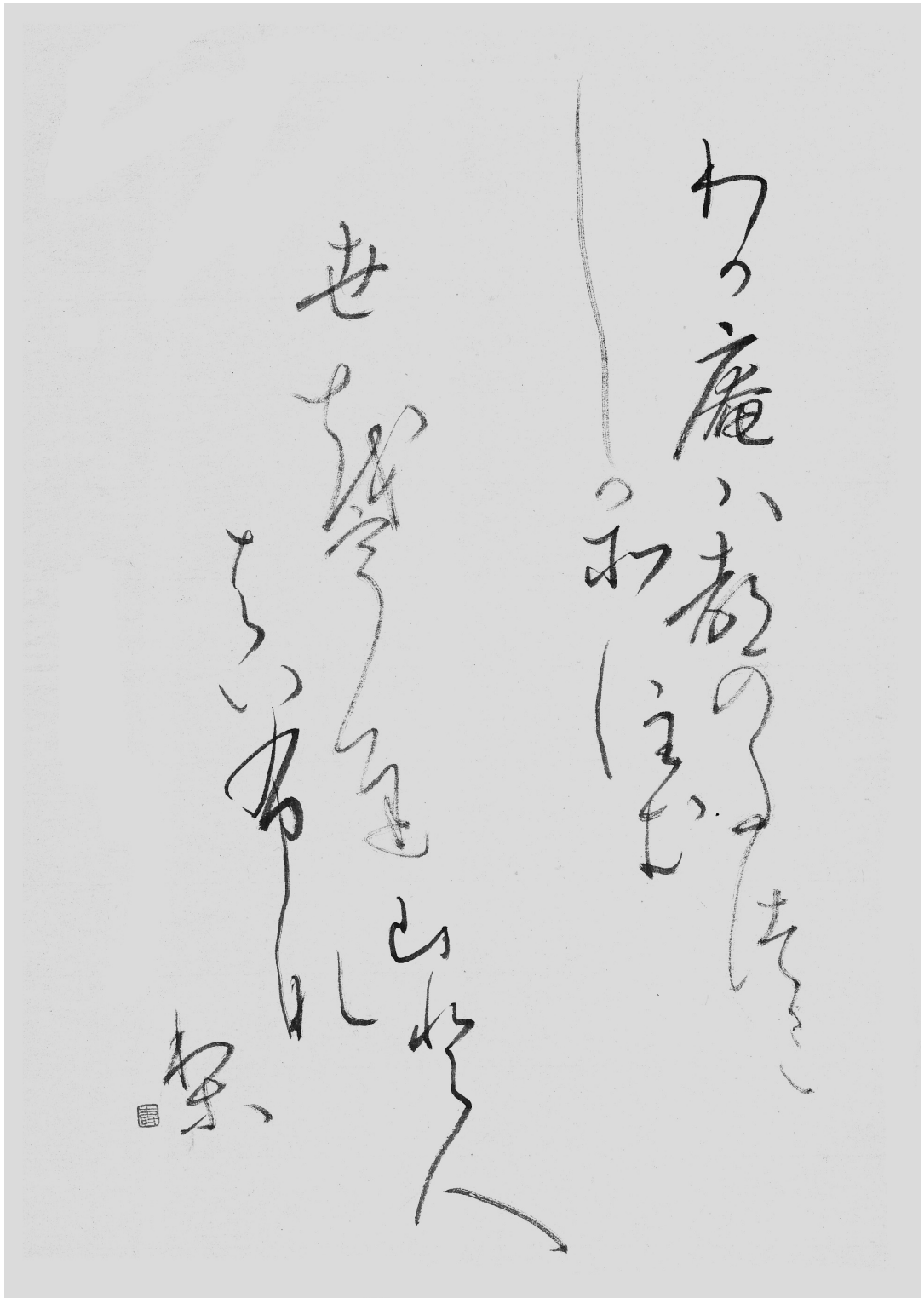
小学三年

ち	木
か	の
く	実
の	を
の	ひ
山	ろ
に	い
行	に
く	

小学四年

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



岩本景楓先生書

(私の仮住まいは都の東南、宇治山^{うじやま}にあって、この世の中をつらいついて、このように心静かに澄んだ心境で暮らしている。)
 わが庵は 都のたつみ しかぞ住む 世をうち山と 人はいふなり (喜撰法師)
 可八 多徒三 可所 越宇遅 登者 布那梨